

海外新着情報（10月更新）

海外新着情報では、神奈川県との協力による海外駐在員との連携の中で得た「海外での企業活動の現状に関する情報」をご案内します。

○ 中国

・ 中国国内における新型コロナウイルスの最新感染状況

～中国～（2021年9月28日）

9月28日（0時）時点の中国国内の感染者数は982人（輸入症例含まず）。直近で国内感染が広がっている地域は、福建省（廈門市など）、黒竜江省（ハルビン市など）で、それぞれ464人、65人の現存感染者が確認されています。

中国国内の新型コロナウイルスの感染リスクは、高リスク地域・中リスク地域・低リスク地域に分類されており、高リスク及び中リスク地域は前述した2つの省内のみとなっています。（高リスク及び中リスク地域を訪問した人には、他の地域へ入国した時にホテル隔離などの感染防止措置がとられます。）

○ 東南アジア地域

・ 入国後の検疫隔離期間を最短7日間へ短縮 ～ タイ・バンコク ～

（2021年9月28日）

タイ政府の新型コロナウイルス感染症対策センターは、現在14日間としているタイ入国後の検疫隔離期間を最短7日間に短縮する方針を固め、10月1日から適用します。入国後の検疫隔離期間は新型コロナウイルスワクチンの接種の有無に応じて分けられ、接種が完了している入国者は7日間に短縮されます。接種が完了していない、または接種証明書を持っていない入国者は、空路と海路の場合は10日間に短縮され、陸路の場合は引き続き14日間となります。

また、11月からバンコクなどでは、新型コロナウイルスワクチンの接種を完了した外国人旅行者を検疫隔離免除で受け入れることも計画されています。

・病院への外部からの訪問を原則禁止 ～ シンガポール ～

(2021年9月24日)

シンガポール保健省(MOH)は、病院の能力を保護するために、2021年9月24日から10月23日まで、すべての公立、地域、私立病院における病棟への訪問を原則禁止し、新型コロナ感染症のリスクを軽減すると発表しました。

○ 北米地域

・米国でのワクチン接種義務化に向けた動きが加速化

～ 米国・ニューヨーク市 ～ (2021年9月13日)

米国のバイデン大統領は9月9日、新型コロナウイルス感染拡大防止のための追加計画を発表しました。従業員100人以上からなる企業に対し、従業員にワクチン接種完了証明、または週1度の感染検査の陰性結果を提出させることを義務付けるための非常事態規則を、労働省が現在策定中だと発表しました。なお、バイデン大統領によれば、米国全体の25%である約8,000万人もの米国人がまだワクチン接種を受けていないとのことでした。

また、米国・ニューヨーク市での屋内飲食時等のワクチン接種証明の義務化が9月13日から開始されるなど、米国内ではワクチン接種義務化に向けた動きが加速化しています。